



長野県南信州

阿智村

地域おこし協力隊



2024年4月～
6人
募集!

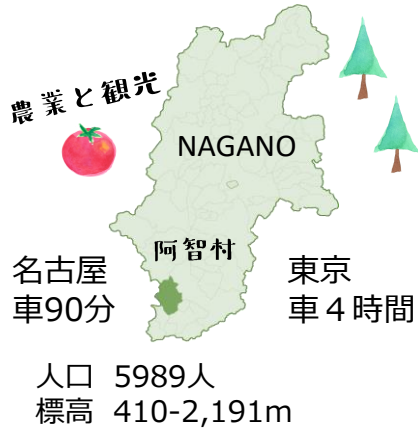
採用試験日はお申込み後決定します

- | | | | | | |
|-----|----|--------|----|-------|----|
| ・就農 | 2人 | ・清内路地区 | 1人 | ・スポーツ | 1人 |
| ・林業 | 1人 | ・関係人口 | 1人 | | |



阿智村の紹介

阿智村こんなところ



昼神温泉



出湯50年を迎える昼神温泉郷は南信地域最大の温泉で、美人の湯として好評を博しています。

保育園・学校



保育園6園、小学校5校があります。小規模ならではの教育が魅力です。中学校、県立高校が1校ずつあります。

花桃



4月から5月にかけて、約5,000本の花桃が咲き誇り、「日本一の桃源郷」とも呼ばれています。

生活



村内にスーパー2店、診療所2カ所。車で約20分の飯田市には、量販店、総合病院があり、生活に必要な機能が揃います。

つながり



56の集落があり、集落ごとにお祭りや草刈り作業などがあります。様々な係や役員があり、地域活動に参加する必要があります。

阿智村の地区

南水曾町

清内路

春日

飯田市

駒場

岐阜県

智里西

智里東

春日

伍和

下条村

浪合

平谷村

浪合

伍和



農業分野

阿智村産業振興公社

阿智村の農業の中心にあるのが阿智村産業振興公社です。高齢になってもやる気をもって農業に取り組めることを目指し、2010年に設立されました。村の農家戸数の約6割が加入し、阿智村産農産物の販売、栽培指導や新規就農研修生の受け入れに取り組んでいます。

就農研修

栽培技術を習得

難しくて奥深くて、楽しい仕事場！

分野の課題

阿智村において農業は基盤産業です。米、野菜、果樹、様々な品目をつくるができます。主要農産物はトマト、キュウリ、ナスなどの果菜類です。高齢化が進み、その結果として耕作放棄地が増加しています。頑張る村内農家の生産や販売を支援しているのが産業振興公社です。

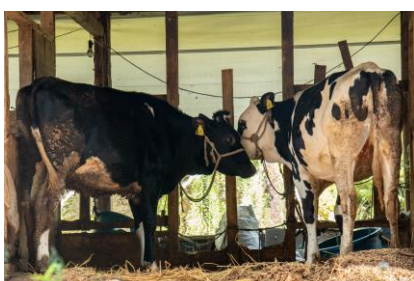
協力隊のテーマ

3年後の阿智村での就農を目標に、阿智村の農業の担い手となる人を募集します。

- 阿智村産業振興公社・JA等にて農業経営、農薬等の学習
- 研修品目：キュウリ・市田柿・トマト・果樹等
- 研修終了後は農地のあっせんがあります。



市田柿



(人口 495人)

分野の課題

清内路地区は標高700~1,000mのエリアで、伊那谷と木曽谷を結ぶ位置にあり、豊富な清水や山々に囲まれた自然豊かな地区です。住民が火薬からつくる手作り花火は、300年余続く伝統の花火です。「信州伝統野菜認定制度」に認定された清内路かぼちゃや清内路きゅうりといった伝統野菜が有名です。

「一人ひとりできることから始めよう やらまい かえまい清内路」をスローガンに、自主的・積極的に地域づくりに取り組んでいる地域ですが、少子高齢化の影響もあり、地域資源の活用や保全が難しくなっています。

協力隊のテーマ

「伝統野菜や花木等の、地域の宝を産業に結びつける郷づくり」に取り組んでいただける方を募集します。

- 伝統野菜等、地域資源を活用した取り組み
- 自治会を始めとする地域団体の活動の応援
- 協力隊の興味や発想を活かした新たな活動

林業

地域の未来をつくる - 林業 -

分野の課題

阿智村の90%は山林です。近年、管理が行き届かない山林が増えたり、サルやシカによる農林被害などが発生しています。

一方、脱炭素社会に向けて森林資源をどのように活用していくのかが阿智村でも課題となっています。2021年、元地域おこし協力隊が代表を務める「NPO法人あち森」が発足し、薪の青空市や森林資源の村内循環システムの構築に取り組んでいます。村内で様々な動きが始まっています。

協力隊のテーマ

村内で取り組まれている里山整備や森林活用を一緒に取り組むとともに、木や森に親しむ体験活動やイベント、ジビエの活用など、新しい事業にも取り組む方を募集します。

- 伐採技術の習得
- 木を活かした体験の企画運営
- ジビエに関する取り組み（解体技術、加工品開発）
- 森林資源利活用の検討



めくもりの田舎でエンジョイライフ



桜コンサート



手作り花火



伝統野菜保存会で作業



薪の青空市



シカの解体施設



間伐体験

スポーツ 文化活動とスポーツの振興

分野の課題

阿智村総合型地域文化・スポーツクラブ「NPOチャレンジゆうAchi」があり、だれもが気軽にスポーツや文化活動を楽しむことができるイベントや教室、講座を開催しています。約400人が会員となっています。日常的な運営や新たな企画の担い手が不足しています。

協力隊のテーマ

チャレンジゆうAchiの運営や企画運営に取り組む協力隊を募集します。またシニアクラブの運営にも関わっていただき、生きがいある人生を送るための活動支援をしていただきます。

- ・ 総合型地域文化・スポーツクラブ「NPOチャレンジゆうAchi」の運営支援
- ・ 同法人および公民館等が実施する住民の健康づくりやスポーツ振興に関する事業の支援
- ・ 阿智村シニアクラブの活動支援

※スポーツインストラクターやトレーナー、教員免許、社会教育主事などの資格がある方を歓迎します。



スポーツ教室



動植物観察会



講習会

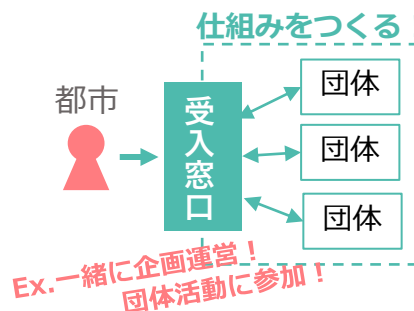
関係人口 都市と農村をつなぐ仕組みづくり

分野の課題

阿智村以外（特に都市部）に暮らす人が阿智村を定期的に訪れ、一緒に地域づくりに取り組むような関係を増やしたいと考えています。現状では、訪れてもらうためのきっかけはつくれても、継続的に阿智村に関わったり、地元の人と交流するための仕組みが不足しています。また情報発信も不十分な状況です。

協力隊のテーマ

村内で活動する地域づくり団体と連携し、継続的に外部の人が阿智村を訪れ、交流するための仕組みづくりを担っていただきます。またSNSを中心とした情報発信体制の構築、情報発信に取り組んでいただきます。



スウェーデントーチ体験



農作業体験



草木染イベント

- ・ 阿智村ファンを増やすための村内協力体制の構築・イベント企画運営
- ・ SNSを中心とした阿智村に関する情報発信
- ・ 村ケーブルテレビの充実



先輩隊員インタビュー

本柳 寛人さん

出身：神奈川県
任期：2011年～2014年
清内路地区を担当

好きでやってるだけじゃない。
ここで暮らしているからやってる。

Q阿智村の協力隊になった経過は？ Q着任してみてどうだった？

留学に行った時、「神道と仏教どう違うの？」「日本の伝統料理は？」など日本について様々な質問をされましたが、全然答えられませんでした。それを知るなら田舎だと思いました。

そんな時、インターネットで地域おこし協力隊を知りました。

お金も出るし、田舎にも行けるしピッタリなの見つけたと思いました。インターン先の方が協力隊に応募しようとしていて、その人が「阿智村で協力隊を募集しているから一緒にどう？」と誘ってくれたので、受験することにしました。

阿智村の募集に環境問題のキーワードでもある“持続可能”が入っていて、村として持続可能を明言しているのは良いなあと思いました。

最初は興味ある団体に全部入りました。「家庭料理を味わう会」で伝統料理を覚え、「清内路かぼちゃ保存会」で農業や種のことを学び、できる限りの自給自足の大事さを知り、そして伝統文化としての煙火を体験しました。

清内路地区には「なるべく自分たちで頑張ろう」という雰囲気があって、自分の性格に合っている地区だなと思いました。

活動中印象的だったことがあります。地域の方に「俺はもう畑やらんで、寛人やれや」と言われました。その時、その方のお母さんが「お前の畑じゃない。ご先祖様たちからのものだ」と息子に言ったんです。この「お前の畑じゃない」という発想、「好きでやっているだけじゃなくて、ここで暮らしているからやっているんだ」という感じや生き方が自分の理想とすごい合っていて、とても気に入っていました。



Q任期が終了してからはどんな活動をしていますか？

3年終わったらどうしようと思っていたら林業に誘ってくれる人がいました。地域のやりたいことと両立できる条件だったのでプラスになると思ってやりました。愛知県の森林組合の下請けのアルバイトです。間伐と搬出をしていました。ここで技術と体力と精神力を得ました。

木を切るのって、結構頭使うんですよ。そういうのも気に入ってる場所ですかね。

2021年に、「NPOあち森」を設立し、代表となりました。目的は、手の入っていない山に手を入れて「次の世代につないでいくこと」「自分の地域でエネルギーをつくること」です。活動拠点を阿智村に移し、森林に関わるおじさんたちと一緒に仕事をしています。



先輩隊員インタビュー

田村 沙織さん

出身：富山県
任期：2015年～2018年
混合地区を担当



みんなが忙しくてできないことを
実現していくのが協力隊の役目。

Q阿智村の協力隊になった 経過は？

阿智村に来る前は、埼玉県で教員をしていました。3週間の夏休みを使ってボランティア活動をしようと考えていたところ、偶然、阿智村の「混合育遊会」を見つけました。混合育遊会とは、山村留学や短期キャンプ等を行っている団体です。

混合育遊会のキャンプボランティアを3年程やりました。スタッフとも仲良くなり、こういう田舎もいいなと思いだした頃、センター長から軽いノリで「住めばいいじゃん！」と声をかけられ、阿智村に来るきっかけとなりました。

教員をやめることについては、リーマンショック後ということもあって「公務員やめちゃうの？」と周りから言われました。

でも「今しかできないことがたくさんある」という気持ちから協力隊に応募することを決断しました。

Q着任してみてどうだった？

はじめは何をしてよいかもわからず、ふらっとしてました。まずは地元の人達と交流を深めて仲良くなろうと考えました。前任から引き継いだ畑のおかげで、たくさんの人と交流できて、少しずつ地域に馴染むことができました。3年目には、鳥獣害の対策をしてほしいという依頼から鳥獣害対策委員会を設置したり、空き家対策の会の事務局を務めたり、少しずつ貢献できたかな。

「給料をもらってるのに、こんなにふらっとして良いのかな。地域の為に何かしなきゃ！」とか「自分は何も期待されていないんじゃないか」と思い悩む時もありましたが、今思えばそこまで背負わなくても良かったかなと思っています。

仕事が決まっていれば楽だとは思いますが、協力隊ってそういうものではないと思います。わたしは「みんなが忙しくてできないこと・思っていることを実現していく、お手伝いをする」ことが協力隊としての役目だと思って活動していました。

Q任期が終了してからは どんな活動をしていますか？

任期中に結婚し、夫が就農することになりました。「農業なら、阿智村でなくても良いよね」と両親に言われ、地元に戻ることも検討していました。そんな時に、お世話になっていた混合の住民団体に相談したところ、色々な人へアポを取り素早く対応してくれました。「阿智村には自分の為に一生懸命になってくれる人がたくさんいるんだ」と嬉しく思い、阿智村に暮らすことを決めました。

今は「農園民泊はらっぱ」を運営しています。農業だけでは生活が厳しいなと思っていたところ、仲良くしていた農家さんから「農家民泊とかどう？収入になるし、やってみれば！」と誘っていただきました。

隊員として活動している頃から、「人が集まる拠点が無いな」と思っていたこともあり、起業補助金を使って家を改築し民泊を始めました。現在は、コロナの影響もあり細々とやっています。

協力隊の活動

阿智村は特色ある8つの地区それぞれで住民が中心となり、地域づくりを進めています。行政も住民の皆さんを支援し「住民一人ひとりがやりたいことをやれる」そんな村を目指しています。協力隊を終了した10人が定住しています。

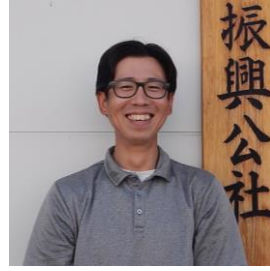
活動にあたっては、月1回協力隊全員と役場の担当課である協働活動推進課がミーティングを行い情報交換します。必要に応じて担当課が随時、協力隊の皆さんの活動をフォローアップします。

Kuniya



就農研修
トマト、市田柿等

Ryota



就農研修
トマト等

Moe



6次産業
農産物の加工品開発

Hiroki



就農研修
キュウリ、市田柿等

Sacci



全村博物館構想
地域にあるもの活用

Sari



浪合地区
地域の課題に取り組む

募集対象

- ・ 年齢満20歳以上、55歳以下（応募時点）
- ・ 応募時点で三大都市圏をはじめとする都市地域等に在住の方で、採用後阿智村の活動地区に生活拠点を移し、住民票を異動できる方（家族での移住可）
- ・ 普通自動車運転免許を取得しており、日常的に自動車の運転ができる方

給与待遇

- ・ 給与
 - ・ 月額186,000円
 - ・ 賞与・勤勉手当 年2回
- ・ 家賃補助 最大月額35,000円
- ・ 居住先は応相談。
- ・ 勤務時間中は公用車を貸与します。
- ・ 資格取得・起業支援補助あり

期間

- ・ 任命の日から1年間（最長で3年間）

選考方法

- ・ 応募締切 : 随時
- ・ 第一次選考 : 書類選考
- ・ 最終選考 : 面接（受付後日程調整）

東京方面

高速バス 新宿～飯田線 伊賀良バス停下車 車で約20分
自動車 中央自動車道 飯田山本IC 約5分

中京方面

高速バス 名古屋～飯田線 駒場バス停下車 徒歩約10分
自動車 中央自動車道 飯田山本ICまたは園原IC

応募に際しては阿智村HPにて「阿智村地域おこし協力隊募集要項」を必ずご確認ください。

問合せ 阿智村役場 協働活動推進課 協働活動係

〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場483
TEL0265-43-2220 FAX0265-43-2351 kyodo@vill.achi.lg.jp

